



新緑

しんりょく



【発行】社会福祉法人 新緑福祉会 / 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137 <https://www.shinryoku.or.jp/>

第2、第3の「えみのき」建設に向けて

新緑福祉会 理事長 平田 健次



重度高齢化対応のグループホーム、「えみのき(咲の樹)」が竣工して早3か月が過ぎました。現在入居予定者の体験入所を行っております。皆様ご期待のショートステイは体験入居終了後利用できるように準備中です。

利用できるように準備中です。

「えみのき」建設に当たっては平成27年10月から準備委員会を設立し、他府県の重度高齢化対応のグループホームの見学をはじめ、利用者が地域の中で生き生きと生活していくためにはどのようなホームが必要なのかの議論を重ねてまいりました。その中でも様々な課題が浮かび上がりました。

幸い、「平成」「緑友」とも隣接し、また相談支援事業所を併設するなど他事業所との連携ができるなど様々な利点があります。

一方①運営費用の問題 ②世話人の人材確保 ③入居希望者の人選等々の課題が大きく残りました。

特に入所者の人選については、定員20名のところ80名を超える申し込みがありました。法人としては入所審査会を設け、入居希望者の審査をすることにいたしました。入居者の審査を厳正に行うために入所審査会のメンバーは各施設長を除くなど公正に審査することといたしました。

結果80名あまりの希望者から20名の入所ということで入所できなかった方が多く出てしまいました。ある保護者が施設長に「どんな方が入居されたのですか」と質問をされましたが、「非常に適切に選ばれています。」と納得をされたとのこと。その保護者が納得をされたとしても、60名を超える方が入居できなかった事実は残ります。

今回グループホームの申し込みをされなかった方でも数年後の不安を感じておられる方々は大勢いらっしゃいます。親なき後の対策は早急に取り組まなければならない緊急課題です。

「第2、第3のえみのき」の建設については、第2期中

期計画を策定し、施設種別、建設場所、建設費、及び運営等の問題点を検証して参ります。

施設種別については、知的障害に特化した特別養護老人ホーム、重度高齢化対応のグループホーム等が考えられます。

建設場所については、ここはの家に隣接する南側の土地、あるいはしあわせの村を含む神戸市の土地が考えられます。ここはの家南側の土地の一部は法人所有地なので問題は少ないのですが、しあわせの村を含む神戸市の土地は行政財産であり、現在は無償でお借りしておりますが、今後もそれが続くかどうか疑問です。

建設費については、平成15年3月建設した「ここはの家」では、土地代建設費を含め、約3億円の借入をし、現在も1億円の残高があります。これは新緑後援会に返済していただいております。「えみのき」の建設については、手をつなぐ育成会、新緑後援会、保護者会等のご支援で無借金で建設ができました。「第2、第3のえみのき」の建設のため、今後どのくらいの期間で資金の調達が可能になるか、手をつなぐ育成会を含め各団体とも協議して参ります。

次に運営の問題です。初めに収支です。重度高齢化対応のグループホームは、全くの新規事業であり、その収支が不明であります。えみのきの現状を踏まえ、検討して参ります。

次に支援職員の確保であります。えみのきについては、法人内の他施設の応援を得て、開所できました。今年度は19人の新人職員を採用しました。それでもなお不足しております。職員は新緑福祉会の財産であり宝です。障害者の支援を誇りに思えるような職員を慎重に守り育てていく努力をしていかなければなりません。

「第2、第3のえみのき」の建設について、各種課題を抱えておりますが、新緑福祉会法人理事、評議員、監事が利用者、保護者、職員と一体になれば、どのような困難、課題にも対応できると信じております。

利用者のため、その保護者のため、ここで働く職員のため、さらにはすべての知的障害者のため、努力してまいります。

どうぞご協力、ご尽力よろしく申し上げます。

息子と玉津むつみの家

玉津むつみの家 保護者会長 楠本 芳子



私の長男は平成7年に高等養護学校を卒業しました。しかし、その年の阪神大震災の影響が

あったのか、しばらくは進路が決まりませんでした。その後、須磨区福祉事務所の担当者から、「玉津むつみの家を見学してみませんか?」と連絡があり、息子と見学に行きました。

施設長さんに話を聞いてもらった後、施設を見学し息子に「むつみの家に行く?」と聞くと「行く」と即

答でした。

それから息子はほとんど休まずに通っています。現在は生活介護事業の玉津むつみの家に所属し、日中活動の一部としてシール貼り作業に取り組んでいます。工賃もいただいており、そのお金で自分の好きなものを買うことを楽しみにしています。また日帰り旅行と一泊旅行にも参加させていただき、よい刺激になっている様子です。

高等養護学校卒業当初、行き場がなく途方にくれていた時から気付けば20年以上が経ちました。あの頃と比べると、息子は「玉津むつみの家」で大きく成長させていただいたと思っています。これからも、親子共々むつみ一筋です。

平成30年度 親子体験事業報告

神戸市立ワークセンターいわや 施設長 光岡 研士

当法人では、平成25年度より「親子体験事業」を行っています。

法人内の通所事業所(5カ所)を親子で体験することで、進路や日中活動の場を考える機会にして頂ければと思っています。対象及び期間は以下の通りです。

- ◆ 特別支援学校の高等部の方:8月中の1~2日間。
- ◆ 在宅の方:8月を除いた平日の1~2日間。

(いずれも、各受け入れ事業所との日程調整を行いますので、詳細は、法人本部までお問い合わせください)

特別支援学校の高等部の方については、7月13日(金)に行った事前説明会にて希望体験先を調整した結果、下記の通りの受け入れとなりました。

	1年生	2年生	3年生	合計
男	8人	7人	1人	16人
女	4人	1人	2人	7人
合計	12人	8人	3人	23人

親子体験に参加した方からは、「実際に親子で事業所の内容を見て体験できてよかった。」「おいしい給食が親子で食べられてよかった」等のご好評をいただいております。

是非、今後も、続けて行きたいと思っています。

なお、この事業を実施するにあたり、「神戸市手をつなぐ育成会」より、運営費の助成をいただいております。誠にありがとうございました。

ワークホーム緑友 陶芸クラブ シルバーカレッジボランティア

神戸市シルバーカレッジ陶芸ボランティアクラブ 23期国際 三木 秀次



神戸市シルバーカレッジ陶芸ボランティアクラブは、現在、部員55名で、ワークホーム緑友様を始め、神戸市内四施設で陶芸教室支援のボランティア活

動を行っています。

ワークホーム緑友様には、16名の部員が半数ずつ、隔月にお手伝いに来ています。陶芸教室支援といっても、陶芸クラブのメンバーも初心者からベテランまで様々です。

毎月、第3木曜日が支援日です。13時の開始に備えて、12時半ごろに集合し、手回しろくろの配置や、土練りを始めます。月一回の開催なので、粘土が固くなっており、参加者の皆さんがあつかいやすいやわらかさに練るのが、準備の大半を占めています。

陶芸に参加されるのは、大体10名から15名位です。全員で、「よろしくお願いたします。」とあいさつをして、教室（緑友の陶芸クラブ）が始まります。参加者の皆さんが、思い思いに作陶されます。凄いスピード

で灰皿を作る人、握り寿司を作る人、果物を作る人、顔を作る人、色々です。陶芸クラブのメンバーも、皆さんの中に入って、一緒に作ったり、お話ししたり、作っておられるのを見て参考にしたりしています。粘土で作り始める時の皆さんのお顔が輝いています。「私より巧い。器の上を広げずに成形されている」「ひも作りの形で作ってはった」と感心したり、顔の表情の表現に驚いたり、皆さんの作陶から刺激をもらっています。「これは何を作ったの?」「このぶどう巧くできているね」と話したり、一緒に粘土を成形したりしている間に終わりの時間がやってきます。皆で、「ありがとうございました」とあいさつをして教室を終わります。

ささやかな活動ですが、少しでもお役に立てればクラブ（シルバーカレッジ陶芸ボランティアクラブ）のメンバーの喜びです。

先輩たちから引き継いだワークホーム緑友様とシルバーカレッジ陶芸ボランティアクラブの交流を、地道に続けて行きたいと思っています。



災害時要援護者支援の取り組みについて

なだ障害者地域生活支援センター 所長 吉良 正幸



6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨、災害レベルの猛暑、相次ぐ台風の上陸、そして北海道の地震と自然災害が続きましたが、皆様被害はありませんでしたでしょうか。7月の豪雨では灘区篠原台地区において、土砂崩れにより大きな被害が発生いたしました。これらの被害に遭われた皆様に、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をお祈りいたします。

また、改めて、避難等災害時の備えの必要性を痛感いたしました。

支援センターでは、障がい者の自立や社会参加を進めるため、関係の皆様方と連携し、課題を協議する場である「灘区自立支援協議会」の事務局も担当し

ています。現在、94の団体・事業所で構成され、各部会に分かれ活動しています。

部会のひとつ「きらく共生部会」では、災害時要援護者支援の取り組みとして、毎年防災ワーキング（避難訓練等）を行っています。

昨年度は、平成30年2月に開催し、約200名の方に参加していただきました。区内6か所に集合、稗田小学校に向かい避難し、運動場では、福祉体験として、炊き出し、非常食の配布、防災グッズや簡易テント展示等を行いました。その後、多目的室で、障がい福祉講座を開催しました。講座では、身体障がい（肢体不自由、聴覚障がい、視覚障がいなど）、知的障がい、精神障がいと障がい毎に「災害時の困りごと」や「サポートしてほしいこと」を当事者や支援者から話していただきました。地域の民生・児童委員の皆様にも、参加していただき、障がい理解を深めていただくため集合場所では、当事者の皆様とコミュニケーションづくりの時間も設けました。多くの参加者の皆様から、障がいについての理解ができたとの声をいただくとともに、「障害者目線の避難訓練」と新聞にも大きく取り上げられました。

今後とも、地域の皆様と連携して、災害時の要援護者支援の取り組みを行ってまいりたいと思います。皆様方の温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

クラブ活動紹介

グリーンホーム平成

生活支援員 根岸 貢

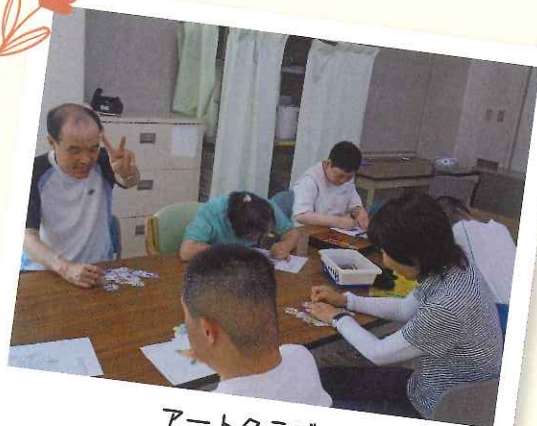
グリーンホーム平成では、「茶道」「音楽」「アート」「スポーツアドベンチャー」の4つのクラブ活動を行っています。毎年、皆さんにアンケートを取り、各クラブのメンバーを決定しています。

茶道クラブでは、しあわせの村のシルバーカレッジの茶道部の方に、月2回ボランティアで来ていただき、お茶のお点前をしていただいています。メンバーの皆さんの中には、お友達にお茶を振る舞ってくれる方もいます。

音楽クラブでは、スタジオトレさんに月2回音楽療法をしていただき、季節に合わせた曲や綺麗な歌声に癒され、楽しいひとときを過ごしています。それ以外の週は、職員によるプログラムを行なっています。

アートクラブは、季節感を感じる壁面作りを中心に、メンバーが色塗りなどに取り組み、平成のロビーや廊下を賑やかに演出しています。

スポーツアドベンチャークラブでは、普段歩行では行けない場所へ冒険に出ています。最近では、昨年オープンした“あいな里山公園”や“キーナの森”を探検しています。



アートクラブ



アドベンチャークラブ



茶道クラブ



音楽クラブ

玉津むつみの家

生活支援員 萩原 大吾

玉津むつみの家では、毎週金曜日の午後に3つのクラブに分かれて活動しています。

★カラオケ倶楽部

一人で熱唱するもよし!!みんなと一緒に歌うもよし!!

今年度から最新の任天堂スイッチを購入し、最新曲から往年の名曲までカラオケを楽しんでいます。みなさんレパートリーが豊富で、「その歌何!?!」というような歌もあれば、アイドルになりきって歌う方もいて、楽しい時間を過ごしています。さあ、みんなで♪レッツカラオケタイム♪



カラオケ倶楽部

★そうさく倶楽部

絵画や造形、色々な材料にて創作活動を行なっています。みなさんの感性の豊かさには驚かされるばかりで、少人数ではありますが、様々な作品展への出展に向けて、個々の作品や力を合わせて造る作品など色々な事にチャレンジしています。



そうさく倶楽部

★バラエティー倶楽部

名前の通り、海から山まで色々なところにドライブに出かけたり、室内でリラックスのため足浴を行ったり、その他オリジナルのキーホルダー作りなど…まさしくバラエティーにとんだ活動を行なっています。

※内緒ですが、たまにこっそりおやつを食べたりしています。他のクラブの方には内緒ですよ。(笑)



バラエティー倶楽部

とこは's kitchen

とこはの家では、班毎にリクエストメニューを実施しています。

利用者さんからのリクエストが多いのは、からあげ・ハンバーグ・とんかつ・ラーメン・ぎょうざ・カレーライスです☆

とこはの家の利用者さんの平均年齢“53歳!!” みなさん、まだまだ食の好みが若いです。そんな中、かわいい動物のリクエストメニューも登場しました。

くまの形のハンバーグに乗ったカレーピラフや、ヒレカツとエビフライでぞうさんに見立てたソースカツ丼☆ペースト食の方のお食事には、調理師さんがぞうさんの絵を描いてくれました。

みなさん、いつもと違うお食事に、とても喜ばれていました♪今年度はどんなリクエストメニューが登場するのかな～? 楽しいリクエスト待ってま～ず\(^-^)/

これからもとこはの家の利用者さんにとって、毎日のお食事が楽しいひとときでありますように、日々努力していきたいと思います。

とこはの家 管理栄養士 前田 愛子



平成30年度 新緑福祉会 新人職員研修会の実施

神戸市立ワークセンターいわや 施設長 光岡 研士

新緑福祉会では、毎年6月に新人職員を対象として「新緑福祉会の業務概要や、業務に必要な基本的知識の取得」に関する研修を行っています。

新緑福祉会職員としての自覚と責任を認識し、職場に早く適応してもらうとともに、職員相互間の連携と一体感の醸成を期すことを目的としています。今年度は、6月29日(金)、法人本部の会議室において18名の新人職員を対象に実施しました。

内容については、次の通りです。

- ①「講話」 理事長を囲みグループセッション
- ②「法人の理念～法人職員としての心構え～」
- ③「関係四団体について」
- ④「障害の理解と特性」について

- ⑤「決裁書の書き方～記録の取り方」について
- ⑥「相談支援」について
- ⑦「個別支援計画～利用者支援」について
- ⑧「栄養マネジメントについて」

教壇には、理事長をはじめ法人役員、施設長、そして現場で指導的立場にある職員が立ちました。特に理事長のお話は「親の立場からの話」ということで好評でした。新緑福祉会の一員となり、これからの活躍を期待しています！



新人職員の自己紹介

グリーンホーム平成



おかもと まい
岡本 舞子

最近、うれしかったこと

支援員補助

働き始めて2か月が過ぎましたが、挨拶を返して下さったり、名前を覚えて、「岡本さん」と呼んでくださるのがとてもうれしかったです。これから信頼していただけるように誠意を持って接していき、頑張つてやっていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



おかだ かずなり
岡田 一成

私の仕事のモットーや座右の銘

支援員

日々の仕事の中で、利用者さんの表情やうすを観察し、なにを思っているのか、何を考えているのか、何をうたえたいのかを、こちら側で考え支援していくことです。「利用者さんの痒いところ手が届く支援」これが私のモットーです。

新緑の家



おもしま まゆみ
主島 真由美

これからの抱負

支援員

6月より、支援員として新緑の家で働いています。利用者さんや家族さんから、やっぱり「新緑の家」に通所させてよかった。(選んでよかった)と、思っていたような環境づくりや、支援をしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

発達障害者東部相談窓口



しもむら みさと
下村 美里

これからの抱負

相談員

まずは、ご本人やその家族、関係者の方々が何を訴えているのかを聞かせていただき、受けとめることを大事にしていきたいと思っています。「この人に話を聞いてもらえて良かった～」と思ってもらえるような相談員になれるよう、尽力させていただきます。

報告 法人内各事業所で実習等の受入れを行いました(平成30年5月～8月)

グリーンホーム平成

- 関西国際大学 神戸親和女子大学
- 兵庫教育大学 神戸女学院大学
- 神戸看護専門学校 神戸特別支援学校

ちゅうおう障害者地域生活支援センター

- 大原医療福祉製菓専門学校

新緑の家

- 神戸学院大学 神戸女子大学
- 神戸歯科衛生学院 青陽須磨支援学校

ワークセンターいわや

- 友生支援学校 神戸看護専門学校 上野中学校
- 甲南女子高校 神戸龍谷高校 武庫川女子大学

講師派遣 (平成30年5月～8月)

なだ障害者地域生活支援センター

□ケアマネ連絡会等への講師派遣 6月5日・7月26日

なだ障害者地域生活支援センター 山本副所長が灘区ケアマネ連絡会等の研修会で「障害福祉サービス」について講師を務めました。

□相談支援従事者基礎研修への講師派遣 7月13～14日

なだ障害者地域生活支援センター 山本副所長が、相談支援従事者基礎研修の運営スタッフを務めました。

□相談支援従事者現任研修への講師派遣 8月1～3日

ちゅうおう障害者地域生活支援センター 田中所長、なだ障害者地域生活支援センター 山本副所長が相談支援従事者現任研修のファンリテーターを務めました。

福祉の就職総合フェアに参加して

ワークホーム緑友 施設長 堀江 善也

7月29日(日)に、「福祉の就職総合フェア2018 in HYOGO」に新緑福祉会として参加してきました。

当日の朝は、台風12号が日本列島を東から西に「逆走」し通過した後だったので、晴れたり突然大雨が降ったり、不安定な天気でしたが、ブースには求職者が、法人の説明を聞きに来られました。

ブースに来られた求職者の中には、「以前、法人の通所事業所前の近くの職場に通っていたことがあった。夕方、利用者を送り出す際の職員の声かけに、利用者がたいへんいい表情して帰っていくのを見て、興味を持った」と言われる人もいました。

また、「事業所で経験を積み、将来は支援センターで相談支援業務をしたい。」と夢を語られる人もいました。

来年の4月に、将来、新緑福祉会を支えていく良い人材が法人に就職されるように希望しております。



こうべ福祉・健康フェア (しあわせの村) 寄贈品ご協力のご依頼

新緑福祉会後援会

平素は、新緑福祉会後援会へのご協力を感謝申し上げます。

さて、今年も「こうべ福祉・健康フェア」に出店いたします。

ご家庭でご不用の日用品などございましたら、寄贈いただきたいと思いますので、ご協力のほど、宜しくお願いたします。

日時 平成30年10月7日(日) 10:00～16:00

場所 しあわせの村

寄贈品収拾場所 グリーンホーム平成



支援者芳名録

〔後援会扱い〕

【平成30年4月～平成30年7月】

賛助会員名(敬称略)

片岡静子、濱田みや子、堀江善也、稲垣順子、山本由子、浅田ルミ子、小菊成一、松吉慶四郎、藤原民子、
藪野シズ子、長谷川まさえ、胡谷一彦、松岡和子、中尾弘三、後藤久美子、森村正一、竹山昭治、門脇ミツ子、
岡早苗、墨谷悦子、田中信行、吉田裕子、道畑武之、戸江達哉、大山春江、本田茂、浦野弘、浦野美樹子、
門脇重道、高崎康夫、森田幸子、森田綾、広瀬真奈美、横山ひろみ、酒井昭夫、匿名1名 会費合計 143,000円

〔法人寄付扱い〕

寄付者名(敬称略)

濱田泰二、藪野シズ子、長谷川まさえ、胡谷一彦、堤荘祐、澤田公子、有本政一、寺本迪彦、石黒和夫、道畑武之、
森山美枝子、吉田裕子、田中伸布子、松本富久身、戸江美津子、畠中連、大山春江、村山佳代子、深田佳子、
森田幸子、森田綾、酒井昭夫、ぎゃらりい恵有志一同、松岡正道、匿名1名 寄付金合計 184,000円

〔法人〕

新緑福祉会へのご寄付のお願い

社会福祉法人新緑福祉会へのご寄付受付を当法人事務局にて
おこなっています。

障がい(児)者の方が一人でも多く社会に参加し、生きることを
心から楽しめるよう知的障がい(児)者の家族、職員一丸となって
取り組んでおります。

当法人の考え方、事業に共感をしていただける皆様からのご厚
情・ご支援をお待ち申し上げております。

皆様からのご寄付はこのように役立てています

- ・新規事業所の創設(グループホーム・相談支援事業所等)
- ・車両の購入(送迎用ワゴン車、作業用トラック等)

個人ご寄付 1口 3,000円、団体ご寄付 1口 10,000円

ご寄付の方法

《お振込》

郵便振込

口座番号: 00940-5-0236641

加入者名: 社会福祉法人 新緑福祉会(シャイワクホクカン シリョクフカイ)

※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、
電話番号は正確にご記入願います。

《現金でのご寄付》

法人本部事務局及び、法人内各事業所でも受け付けております。

(受付時間 平日9:00～17:00)

※窓口にて「払込取扱票」をご記入いただけます。

※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、
電話番号は正確にご記入願います。

当法人にご寄付いただくと、以下の所得税法及び法人税法による
控除が受けられます。手続きは、寄付をされた年の確定申告時
に、当法人が発行した寄付金額収書を添付して下さい。

＜個人の場合＞

以下の限度額で所得税法の寄付金控除が受けられます。

(「特定寄付金の支出額」と「総所得金額等の合計額の25%」のい
ずれか少ない方の金額) - 5,000円 = 寄付金控除額

＜法人の場合＞

次の限度額内で法人税法上の損金算入ができます。

《(期末資本金及び資本積立金 × 事業年度の月数 / 12 × 2.5 /
1,000) + (当該事業年度の所得金額 × 2.5 / 100)》

ご寄付に関するお問い合わせ

社会福祉法人 新緑福祉会

〒651-2121 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7

TEL: (078) 913-1277 FAX: (078) 913-1137

メール: otoiawase@shinryoku.or.jp

〔後援会〕

後援会賛助会員勧誘のお願い

新緑福祉会後援会(以下、後援会)は、社会福祉法人 新緑
福祉会(以下、法人)に対し、毎年、施設用地の取得に係る借
入金の償還金相当額 540 万円の財政支援をしています。また、
各施設の建物改修、設備の更新等の経費に対しても、毎年、支
援をしています。さて、賛助会員の皆様のご協力により、念願
の「えみのき(咲の樹)」が竣工しました。今後は、ショートステイ、
相談支援の運営にも期待が高まっています。ただ、親なき後の
住まいについては、まだまだ多くのニーズが解消されておしま
せん。そのため、さらなる事業拡大に向けて更に多額の資金が
必要となり、資金集めに取り組みねばなりません。そこで、後
援会としては、厳しい社会情勢ではありますが、今後もさらに
法人と連携し収入の拡大に努めます。後援会の設立の趣旨にご
理解を賜り、一人でも多くの新しい賛助会員のご勧誘をしてい
ただきますよう、また、すでにご加入頂いております賛助会員
の方々には、ご加入の継続をご推奨いただきますよう、お願い
申し上げます。

● 年会費: (個人会員) 1口 3,000円、(団体会員) 1口
10,000円(1口以上のご寄付をお願いいたします)

● 振込先: 郵便振込 口座番号: 00960-2-145979

● 加入者名: 「新緑福祉会 後援会」

● 新緑福祉会のHP(<https://www.shinryoku.or.jp>)に、後援
会を関連機関として紹介しています。賛助会員についても
掲載していますので、是非ご覧ください。

編集後記

社会福祉法人新緑福祉会の機関紙の第7号をお届けします。
ご多忙の中、原稿を寄せていただいた皆様に感謝申し上げます。
併せて、スマートフォン対応にもなっていますホームページも
ご覧ください。ホームページは「https」となっており、通信には自
動暗号化機能を加えた安心の設計になっており、職員採用にお
いても問い合わせが相次いでいます。

現在、えみのき(咲の樹)の進捗は、連絡道と駐車場整備も完
了し、本格稼働に向けて準備中です。関係の皆様には、職員確保
に向けて、引き続きご協力をお願いいたします。

後援会の皆様には、10月7日に開催の「第29回 こうべ福祉・健
康フェア 大バザー」への出店をよろしく願います。今後
も、法人組織が一体となって協力いたします。